



東日本大震災から15年 防災には日頃からの意識を!!

今年、東日本大震災から15年の節目の年となります。
震災を風化させず、いつか来る災害から身を守るため、大震災を直接経験していない世代も、学び、備えています。
「想定外」を「想定内」にして、未来の自分を助けるためにも、日頃から備えましょう。

1/15 東小学校 防災授業 (木) 東小学校

小学4年生を対象に、R7.7月の津波警報（カムチャツカ半島付近地震）を踏まえた防災授業を行いました。

ドローンの映像を使い、東小学校が海と関根川の近くにあることを確認し、北海道・三陸沖後発地震で想定される津波等について学び、避難計画「マイ・タイムライン」を作りました。



1/20 高萩清松高校 防災授業 (火) 高萩清松高校

高校1年生を対象に「防災講話&ワークショップ」を行いました。

市内で発生する恐れのある災害や、清松高校が実際に避難所として開設されたことなどを学び、シェルターテントの設営体験など、実際の避難生活を想定しながら話し合いました。



- 👤 ベッドが固いね
- 👤 Wi-Fiが必要
- 👤 生活音が気になる

シェイクアウト訓練

▶日時 3/11(水) 12:45~

▶訓練内容 「防災行政無線」から、訓練開始放送が流れます。
その場で地震災害から身を守る行動を実施してください。

▶参加登録 右QRから申し込み。



身を守る3つの行動



まず低く



頭を守り



動かない

東日本大震災を知らないけれど知っている 私たちの「bousai」への想い

震災を直接経験していない世代に「防災」への想いを聞きました。



日常の備えが
命を守ることに
つながる

高萩清松高校 1年
はせがわ れいあ
長谷川 令歩さん
(松岡中学校 出身)

私は、大きな災害を経験したことが無いので、家族やテレビ・インターネットなどを通して防災の準備をしています。

避難場所や避難経路の確認、懐中電灯や飲料水などの準備をしたり、災害時に家族とどのように連絡を取るかなどを話したりしました。

最初、準備するのは大変そうだなと思いましたが、日常的な備えが命を守ることに繋がると感じました。



正しい情報を
落ち着いて
判断する

高萩清松高校 1年
うさみ らな
宇佐美 羅奈さん
(高萩中学校 出身)

災害は、いつ、どこで起きるか分かりません。

そのため、私は日頃から避難経路や危険な場所、安全な場所を確認したり、災害時に必要なものを考えたりしながら生活しています。

また、正しい情報を落ち着いて判断し、地域の方たちと協力し合いながら助け合うことを大切にしていきたいと思っています。



今の自分だから
できることを
行う

高萩清松高校 1年
あらい はるき
油井 晴希さん
(秋山中学校 出身)

日本は災害が多く、自分の生まれた頃にも大きな災害があったので、災害に備えることが大切だと思います。

今まで準備してこなかった非常食や水など、災害時に必要な物を準備して備えたいです。

また、自分が住んでいる市の避難場所を確認し、インターネットや本などで災害に備え、災害が起きた時にどうしたら良いか考えるなど、今の自分だからできることをしていきたいと思っています。

東日本大震災の記憶

●地震の状況

【発生日時】平成23年3月11日(金)午後2時46分

【震源地】三陸沖北緯38度6.2分、東経142度51.6分
宮城県牡鹿半島沖 約130km付近

【震源の深さ】約24km

【地震の規模】マグニチュード9.0

【震度】高萩市本町6強、安良川6強

【避難箇所】14箇所

【避難者数】4,845人

●被害状況

(1)死者1名、重傷者2名、軽傷者18名 計21名

(2)建物被害 全壊222棟、大規模半壊205棟、
半壊971棟、一部損壊4,305棟

(3)道路被害 市道通行止め23路線、
県道通行止め3箇所

(4)上水道被害 市内全域で断水 3月23日全線通水

(5)電気被害 市内全域で停電 3月15日全域通電

(6)津波被害 床上浸水10件、床下浸水18件